

CASA新聞

発行 株式会社カーザミカワ
岡崎本社 ☎0564-24-2511
岡崎市吹矢町8番地
豊田営業所 ☎0565-28-3891
豊田市豊栄町6丁目1番地

「働き方改革関連法」

中小の時間外労働改善に支援

厚生労働省は4月から施行となる働き方関連法に関する支援制度を明らかにした。2019年度の厚生省予算案のうち「時間外労働時間改善助成金」として626億円が盛り込まれており、時間外労働の上限設定を行う中小企業事業主に対し上限150万円、週休2日制とした場合、上限額を加算し合計200万円の助成が行われる予定。助成対象は終業規制就業規則の作成変更や研修、外部からのコンサルティンク、労働能率を増加する設備導入・更新、業務管理用機器等の導入・更新。勤務間休息を取り入れる勤務時間インターバルを導入する中小企業事業主に対し、9時間以上11時間未満のインターバル時間には80万円、11時間以上は100万円を助成する計画。また、3社以上の中小企業事業主団体において傘下企業の間外労働の上限規制への対応を行う事業主団体に対し、定額助成をする。基本上限額500万円、傘下企業数10社以上の都道府県別またはブロック単位で構成する事業主団体には1000万円を助成する。

環境省、初めてのZEHを支援

新規取り組みビルダーに予約枠を設定

環境省は、2019年度のZEH（ゼロエネルギー住宅）に対する補助金で、ZEHに初めて取り組む住宅事業者が補助金を使いやすくするため、抽選方式の一般公募とは別枠で、抽選のない枠を予約できるようにする。一般公募の場合、一定期間公募を行い、抽選で補助金の交付が決まる。これに対し新規に取り組みZEHビルダー向けには、事前に枠を付与する。予約枠を使つた交付申請公募期間7月、8月の3回の実施を予定している。2019年度の予算案に盛り込まれているZEH補助金では、戸建て住宅（注文・建売）で、交付要件を満たす住宅（新築・改修）に1戸あたり70万円の補助を行う。CLTを一定量以上使用したり、先進的な再エネルギー利用技術を活用した住宅には1戸あたり90万円を上限に加算。蓄電システムを設置する場合、20万円または補助経費の3分の1を上限に、1kWhあたり2万円を加算。

国産、4カ月連続で在庫減

1月の合板供給

今年1月の内外産合板供給量は51万5500㊦と前年同月比2.8%減となった。年始から堅調な生産が続き、25万8400㊦と同0.7%増。輸入合板の入荷量も25万7000㊦と同6.1%減と昨年の月平均入荷量より若干増加した。国産合板のうち、針葉樹合板の生産量は24万7500㊦と同0.8%増。このうち、針葉樹構造用合板の生産量は22万8000㊦と同0.8%減。1月は年始の連休があるため、生産量は昨年12月に比べると減少した。ただ、非構造用の生産量は12月並みの水準を確保しており、フロア台板など建材メーカー向け製品の需要に対応するため、生産量を維持したことがうかがえる。これに対して、針葉樹合板の出荷量は27万1300㊦と同7.6%増。このうち、針葉樹構造用合板の出荷量は25万2000㊦と同6.6%増。生産量と同様の方法で算出した針葉樹構造用合板は1万9300㊦と同22.5%増。年末年始の納期遅れ分の出荷が活発だったことから、出荷量は生産量を大幅に上回った。このため、針葉樹合板の期末在庫量は、11万4200㊦と前月比2万900㊦減。昨年9月に17万9300㊦まで増加して以降、4カ月連続で減少している。国内合板メーカーとしては、在庫量そのものが低水準なことに加え、品目ごとの在庫バランスが悪いため、引き続き在庫の確保に努めている。輸入合板の入荷はマレーシアが9万3200㊦と同9.9%減、インドネシアが7万9400㊦と同2.5%減となつている。400㊦と同12.7%減、中国が6万5200㊦と同2.6%増、その他が2万2100㊦と同16.0%増。例年1月は通関手続きのずれ込みがあり入荷量は増加しやすいが、今年は25万㊦台に留まった。マレーシア、インドネシア両国からの昨年12月と今年1月の月平均入荷量と昨年1年間の月平均入荷量を比べると、マレーシアが8万1900㊦で7.4%減、インドネシアが7万9400㊦で2.5%減となつている。

名古屋商況 迫力ない荷動き

春需への期待は強いが、今のところ住宅資材の荷動きに活発さは感じられない。プレキャスト工場の受注状況は堅調だが「新規分については勢いがいい。先送りされる物件も多い（愛知県の大型工場）との声がかかる。木材製品は依然として買い急ぎは見られず、価格は概ね保合で推移している。国産材の市売市場は「川下では住宅建築の仕事が出てきべると減少した。ただ、非構造用の生産量は12月並みの水準を確保しており、フロア台板など建材メーカー向け製品の需要に対応するため、生産量を維持したことがうかがえる。これに対して、針葉樹合板の出荷量は27万1300㊦と同7.6%増。このうち、針葉樹構造用合板の出荷量は25万2000㊦と同6.6%増。生産量と同様の方法で算出した針葉樹構造用合板は1万9300㊦と同22.5%増。年末年始の納期遅れ分の出荷が活発だったことから、出荷量は生産量を大幅に上回った。このため、針葉樹合板の期末在庫量は、11万4200㊦と前月比2万900㊦減。昨年9月に17万9300㊦まで増加して以降、4カ月連続で減少している。国内合板メーカーとしては、在庫量そのものが低水準なことに加え、品目ごとの在庫バランスが悪いため、引き続き在庫の確保に努めている。輸入合板の入荷はマレーシアが9万3200㊦と同9.9%減、インドネシアが7万9400㊦と同2.5%減となつている。400㊦と同12.7%減、中国が6万5200㊦と同2.6%増、その他が2万2100㊦と同16.0%増。例年1月は通関手続きのずれ込みがあり入荷量は増加しやすいが、今年は25万㊦台に留まった。マレーシア、インドネシア両国からの昨年12月と今年1月の月平均入荷量と昨年1年間の月平均入荷量を比べると、マレーシアが8万1900㊦で7.4%減、インドネシアが7万9400㊦で2.5%減となつている。

表示説明	値下げ	横ばい	値上げ
市況状況	ファルカタ薄ベニヤ	ファルカタ正寸12mm T2	針葉樹12mm 3×6

各記事の問い合わせは 担当営業マンへ！